取扱説明書

コンパストレーニングマシーン

コンパクト

ローイング

COP-1104C

compass® compact

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

03-146③L2

もくじ

✲安全上のご注意…… 3
✲ご使用になる前に …… 8
環境について …… 8
✲各部の名称…… 9
✲操作方法 …… 10
座面高さの調節について……10
胸パッド位置の調節について……11
運動範囲の設定について……12
シングルアクション／ダブルアクションの
切り替えについて ……13
ウエイトの設定について……16
ラバーウエイトについて……16
杖ホルダーについて……18
オルターネイトシステムについて……18
✲基本的な運動方法 …… 19
ローイングでの使用筋肉……19
基本的な姿勢の設定……19
基本的な動作 ……20
✲お手入れの仕方…… 21
✲機器の保守・点検について …… 21
✲保証とアフターサービス…… 22
✲仕 様…… 23

用途

本製品はローイング（前方のバーを手前に引く）動作、すなわち肩甲骨内転、肩関節伸展、肘関節屈曲により、僧帽筋中部、広背筋、三角筋後部のトレーニングを行い、姿勢の改善、肩甲骨周囲の可動性と安定性を向上させるためのものです。

特長

- アームの回転支点が頭上に設定されており、正しい関節運動を行うことができます。
- 使用者の体格や運動レベルに応じて座面高さ、胸パッド位置、ウエイト質量、左右のアームの分離・連結、運動範囲の設定を調節できます。
- シート部周辺は側面からのアプローチも可能なウォークスルー構造であり、高齢者の方でも容易にトランスファーできます。

適用範囲

本製品は、ISO 20957 Class SA と ISO 20957 Class IA の基準に適合しています。
本製品は、立ち入りや管理がオーナーにより明確に規定されているスポーツ協会、学校、ホテル、スポーツホール、クラブ、スタジオ、リハビリテーションセンターのような組織でのトレーニングエリアで使用されるものです。また、本製品は管理が行き届く範囲でのみ使用されなければなりません。

*compass®は、ドイツ Proxomed Medizintechnik GmbH の登録商標です。

※安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

参　照：取扱説明書参照。

設置

⚠警告

本製品は必ず水平な場所に設置する

不安定な場所では本体の転倒等の恐れがあります。

十分なスペースと周辺への安全性を考慮し設置する

設置する場所について、アーム部等の可動部が人や障害物に接触し、けがをしたり機器が破損する恐れがありますので、十分なスペースを確保してください。

使用上の注意

⚠注意

本体に寄りかかったり、ぶら下がらない

本体が転倒する恐れがあります。

座面の上に立たない

転倒や落下の恐れがあります。

指導、監視下にない子供を近づけない

指導、監視下にない子供が使用したり、接近すると、思わぬけがをする恐れがあります。

運動前後

⚠ 警告

運動を行う際は、周囲に他の人や障害物がないことを確認してから行う

周囲に他の人や障害物がなく、安全であることを確認してから使用してください。運動中のアーム等が周囲の人や障害物に接触すると、けがをしたり機器が破損する恐れがあります。

運動前後は、エンドストッパーを最下位にして固定し、ウエイトスタックピンを一番下のウエイトの穴に入れアームをロックする

アームに触れた際、アームが急に動いて思わぬけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

床に障害物がないことを十分に確認

床に障害物等が転がっていないことを十分に確認してから機器へのトランスファーを行ってください。

各調節部の固定は確実に行う

不完全なままで運動すると、調節部が急に動いて、思わぬけがをする恐れがあります。

運動は安全な靴や運動向きの服装で行う

服装の一部が可動部に巻き込まれると危険です。

運動中

警告

運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない

運動中にピンが外れると、ウエイトが落下し思わぬけがをする恐れがあります。

運動中は他の人が機器に接近した場合は、運動を一時中止する

運動中のアーム等が周囲の人に接触すると、思わぬけがをする恐れがあります。

運動中は可動部に手足を近づけない

可動部に挟まれて思わぬけがをする恐れがあります。

注意

過負荷となるような無理な運動は絶対に行わない

運動の効果が無いだけでなく、けがの原因となります。

無理な姿勢での運動は行わない

運動の効果が無いだけでなく、けがの原因となります。

運動中はグリップから手を放さない

ウエイトの急な落下やアームの思わぬ動きにより、けがをする恐れがあります。

ウエイトはゆっくりと下ろす

下のウエイトに勢い良く当てるような運動をすると、機器の破損の恐れだけでなく、けがの原因となります。

運動はゆっくりと行う

早く動かすと関節可動域を超え、けがをする恐れがあります。

杖の把持部の向きに注意し、運動中に可動部と干渉しないことを確認

杖ホルダーに差し込んだ杖に、横方向への無理な力を掛けない

各部の調節・設定

⚠ 警告

ウエイトスタックピンを操作するときは、必ずウエイトが一番下にあることを確認

ウエイトが持ち上がった状態でピンを操作するとウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ウエイト質量を調節するたびに、必ずウエイトスタックピンがマグネットで固定されていることを確認

運動中にピンが抜けると、ウエイトが落下したり急激に抵抗が変化し、思わぬけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

調節時に胸パッドを強く引かない

胸パッドが抜け落ちたり、本体より抜けた勢いによる転倒等で、思わぬけがをする恐れがあります。

赤ラインが見えたら、それ以上胸パッドを引かない

胸パッドが抜け落ちたり、本体より抜けた勢いによる転倒等で、思わぬけがをする恐れがあります。

エンドストッパーにウエイトを強くぶつけたり、ウエイトが接触した状態からさらに強い力をかけない

エンドストッパーが動いて、思わぬけがをしたり、機器が破損する恐れがあります。
エンドストッパーはあくまで運動範囲を設定するためのもので、完全なストッパーではありません。

エンドストッパーのノブを緩めすぎない

ノブが抜け落ちると、部品が外れて損失する恐れがあります。

座面高さ調節レバーは握らない（座面高さ調節時やバランス確保などのとき）

レバーを握ると、座面とレバーの間に指をはさみ、けがをする恐れがあります。

座面高さ調節レバーは、必ず座面に座ってから操作する

座面に荷重が掛かっていないと、座面が急に上昇し身体に当たり、思わぬけがをする恐れがあります。

使用前にダブルロックノブのピンが穴にきちんと入っていること、またノブに緩みがないことを確認

固定が不完全な状態で運動を行うと、胸パッドが急に移動し、思わぬけがをする恐れがあります。

エンドストッパーはしっかり固定する

不完全な場合、アームの動きが止まらず、思わぬけがをする恐れがあります。

左右のアームの位置が合っていない状態でシングル／ダブル切替レバーを操作しない

左右のアームが分離された状態でピンが突出ていると、左のアームに当たり、アーム及びピンが破損する恐れがあります。

シングル／ダブル切替レバーの操作は、必ず左右のアームを元の位置に戻し、クッションに触れている状態で行う

アームに負荷が掛かっている状態でノブを操作すると、分離されたアームが急に動いて思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンをウエイトスタックピンとして使用しない

ラバーウエイトピンではウエイトを十分に固定できないため、ウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

シングル／ダブル切替レバーの操作は確実に行う

連結・分離が不完全な状態のまま使用すると、運動中にアームが思わぬ動きをする場合があり、けがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンに取り付けるラバーウエイトは 2 枚までで、最大 2.0kg までにする

シングル／ダブル切替レバーの操作をするときは指の挟み込みに注意

レバーを回すときにレバーを横に引いたままで元に戻すと指を挟む恐れがあります。

スプリングカラーは必ず使用し、ラバーウエイトにしっかりと押し付け、確実に取り付ける

未使用もしくは取り付けが不完全な状態で使用すると、運動中にラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンは、一番上のウエイトにしっかりと取り付け、ピンがマグネットで固定されていることを確認する

取り付けが不完全であったり、マグネットが効いていない状態で使用すると、運動中ラバーウエイトピン及びラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンには、付属のラバーウエイト以外は取り付けない

適切なサイズでないと、ラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

※ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.21 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

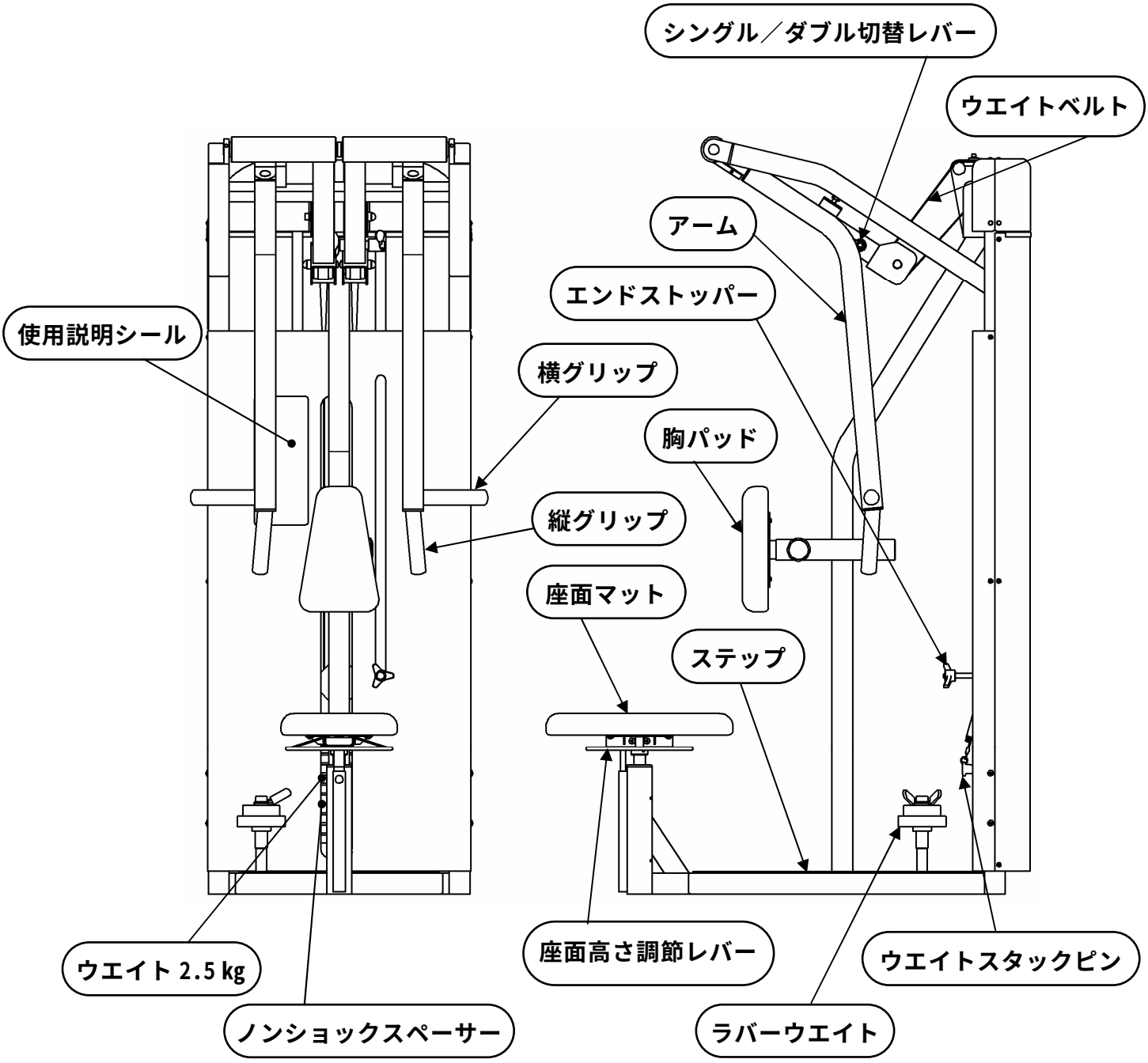
環境について

下記のような場所での使用及び保管は避けてください。

- 室外及び直射日光のあたるところ。
- 水平でない床面や段差の有る不安定なところ。
- 周囲温度が 10℃～35℃の範囲を超えるところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 振動、衝撃の多いところ。

※各部の名称

コンパクト ローイング　　ＣＯＰ－１１０４Ｃ

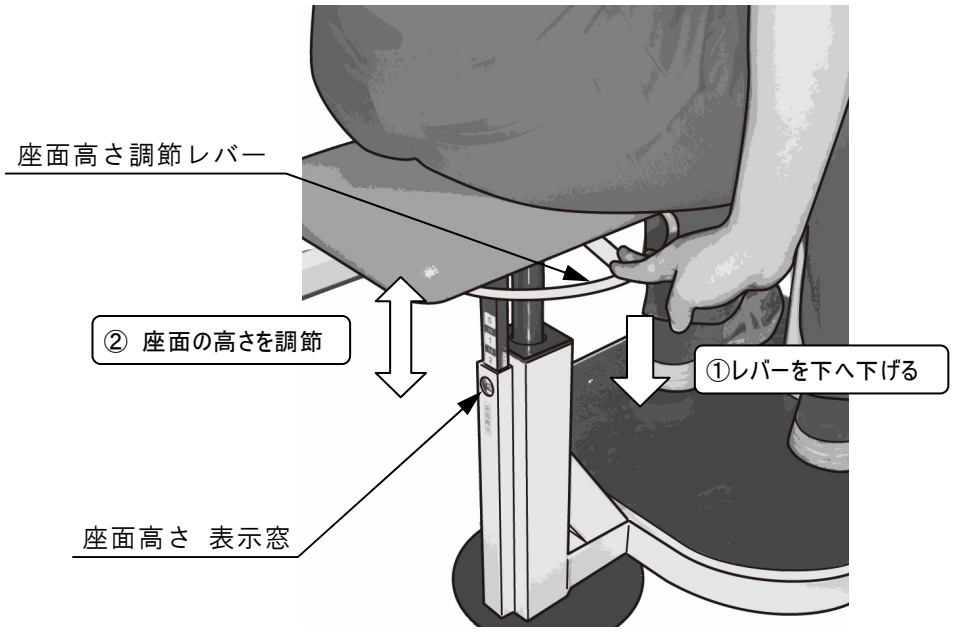


※操作方法

座面高さの調節について

座面高さは 190 ㎜の範囲内で無段階に調節でき、座面下の表示窓にスケールで表示されます。

① 座面マットに座り、座面高さ調節レバーを下に下げます。
② 座面高さを調節します。
　下降させる場合は座面の中央部分に体重をかけます。
　上昇させる場合はステップもしくは床面に足をついて腰を浮かせるようにします。
③ レバーを元の位置に戻します。



注意 ・座面高さ調節レバーは、必ず座面に座ってから操作する
・座面高さを調節するときは、高さ調節レバーを握らない
(座面高さ調節時やバランス確保などのとき)

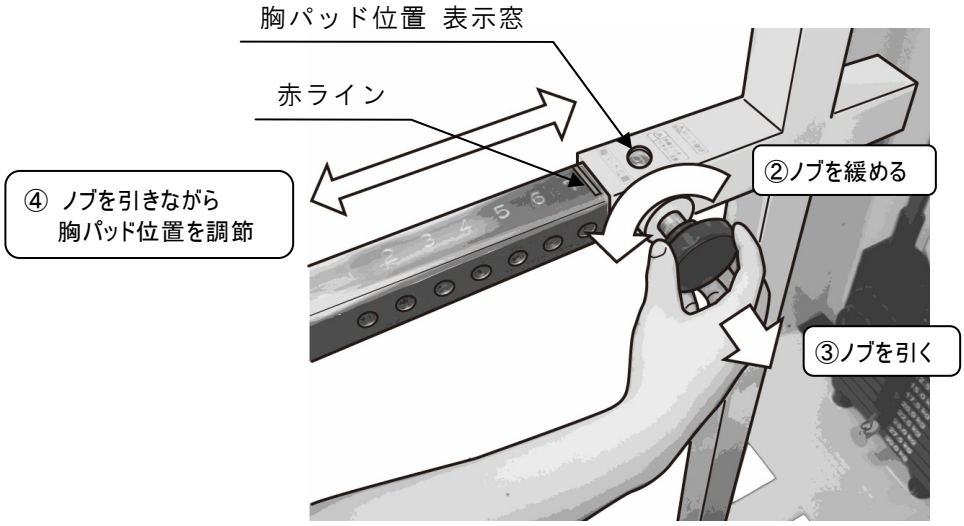
参考

座面高さ調節レバーは、下だけでなく、上に上げても座面高さの調節が可能です。

胸パッド位置の調節について

胸パッド位置は前後に 25 ㎜刻みで 9 段階（200 ㎜）に調節でき、表示窓にスケールで表示されます。

① 胸パッドを持ちます。
② ダブルロックノブを反時計回りに回して緩めます。（1 回転程度）
③ ノブを引いて、胸パッドの固定を解除します。
④ ノブを引きながら、胸パッド位置を調節します。
⑤ 固定したい位置付近でノブを戻し、胸パッドを少し前後させてノブのピンを胸パッドの穴に入れ、位置を決めます。
⑥ 胸パッドを動かしてピンが入っていることを確認します。
⑦ ノブを時計回りに回して締め付け、胸パッドをしっかりと固定します。



注意 ・胸パッドを強く引かない
・赤ラインが見えたら、それ以上胸パッドを引かない
・調節後は、ダブルロックノブのピンが穴にきちんと入っていること、ノブに緩みがないことを確認

参考

ダブルロックノブは緩めすぎないでください。1 回転程度緩めてノブを引き上げると調節が可能です。

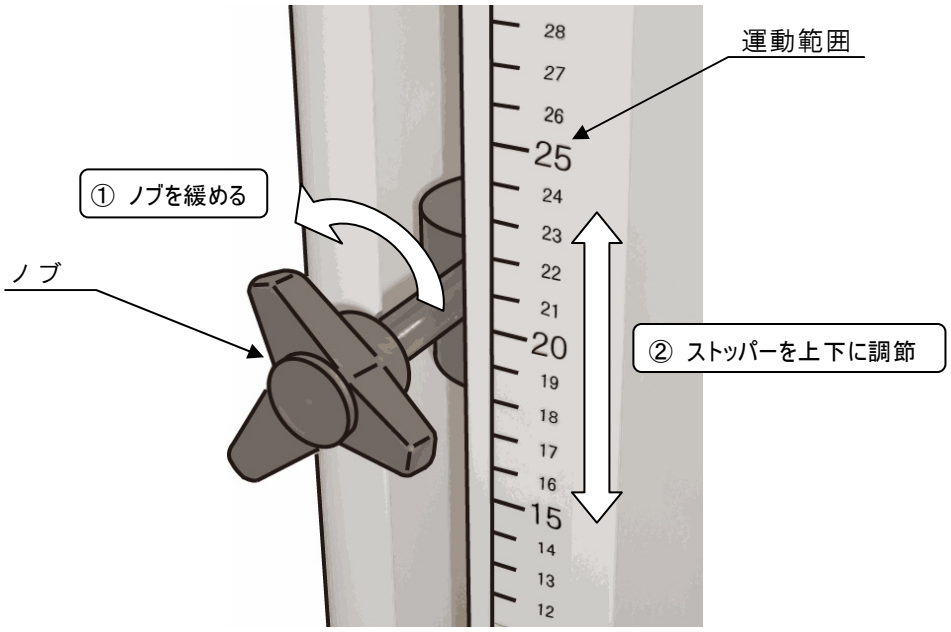
運動範囲の設定について

エンドストッパーの位置を調節することにより、運動範囲（アームの可動範囲）を設定できます。

エンドストッパーの調節方法

運動範囲はエンドストッパーのバーが差し示したスケールで確認できます。

① ノブを反時計回りに回して、エンドストッパーの締め付けを緩めます。（半回転程度）
② ストッパーを上下に動かして位置を調節します。
③ ノブを時計回りに回して締め付け、ストッパーを固定します。



注意 ・エンドストッパーはしっかりと固定する
・エンドストッパーにウエイトを強くぶつけたり、ウエイトが接触した状態からさらに強い力をかけない
・ノブは緩めすぎない

参考

機器を使用しないときは、エンドストッパーを最下部まで下げて固定しておくと、アームの動きを抑えることができます。

シングルアクション／ダブルアクションの切り替えについて

右のアーム上部にあるシングル／ダブル切替ノブの操作によって、左右のアームが一緒に動くシングルアクションと、左右別々に動くダブルアクションに切り替えることができます。ダブルアクションで運動する際、オルターネイト動作が可能です。

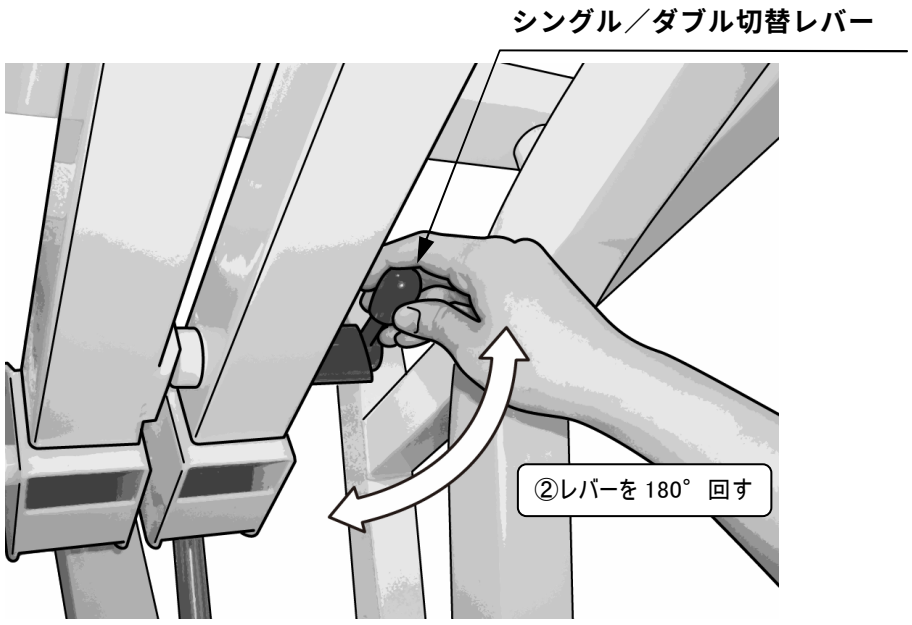
シングルアクションは、片側のアームを動かしても左右のアームが連動して動き、設定したウエイト質量での運動が行えます。

ダブルアクションは、片側のアームを動かすと、設定した 1/2 のウエイト質量での運動が行えます。

シングル／ダブル切替レバーについて

シングル／ダブル切替レバーは、左右のアームの連結と分離を選択して、シングルアクションとダブルアクションの切り替えをするためのものです。

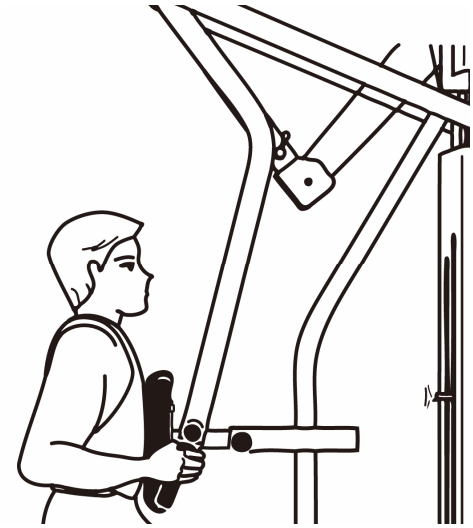
① 切替レバーが上を向いているときは、ピンが突き出た状態になっています。
② 切替レバーを 180° 回し、溝に入れます。
③ 切替レバーが下を向いているときは、ピンは引っ込んだ状態になっています。

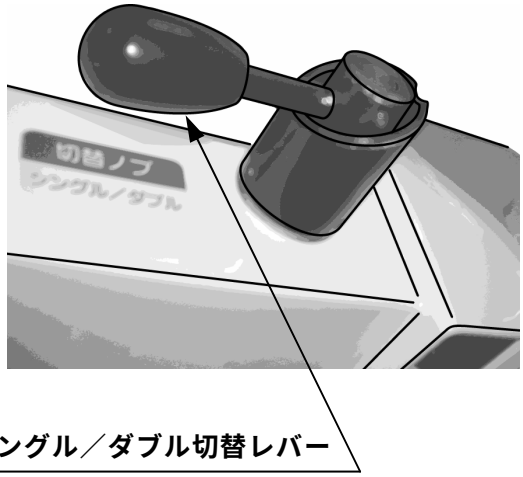


■ シングルアクションへの切り替え（アームの連結）

① 左右のアームが元の位置にあり、クッションに触れていることを確認します。
② 右のアーム上部にあるシングル／ダブル切替レバーを下から上に 180° 回します。
③ レバーを溝に入れて、ピンを左のアームの連結穴に入れます。
④ 左右のアームを軽く動かして、ピンが入ったことを確認します。

シングルアクション





シングル／ダブル切替レバー

注意
- **シングル／ダブル切替レバーの操作は確実に行う**
- **シングル／ダブル切替レバーの操作をするときは指の挟み込みに注意**
- **シングル／ダブル切替レバーの操作は、必ず左右のアームを元の位置に戻し、クッションに触れている状態で行う**
- **左右のアームの位置が合っていない状態でシングル／ダブル切替レバーを操作しない**
- **シングル／ダブル切替レバーが、しっかり溝に入っていることを確認**

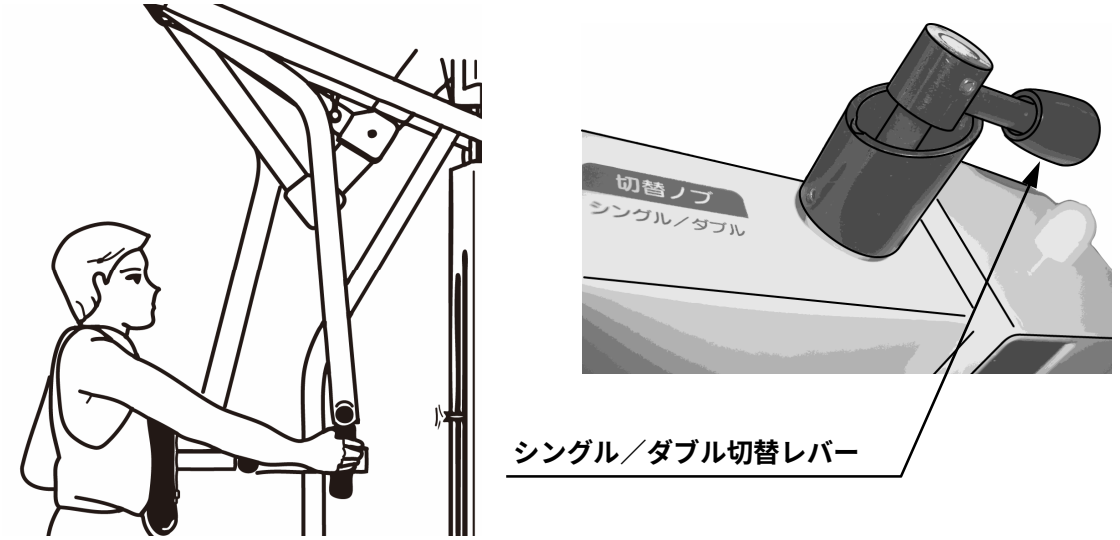
■ ダブルアクションへの切り替え（アームの分離）

① 左右のアームが元の位置にあり、クッションに触れていることを確認します。

② 右のアーム上部にあるシングル／ダブル切替レバーを上から下に 180° 回します。

③ レバーを溝に入れて、左のアームからピンを抜きます。

ダブルアクション

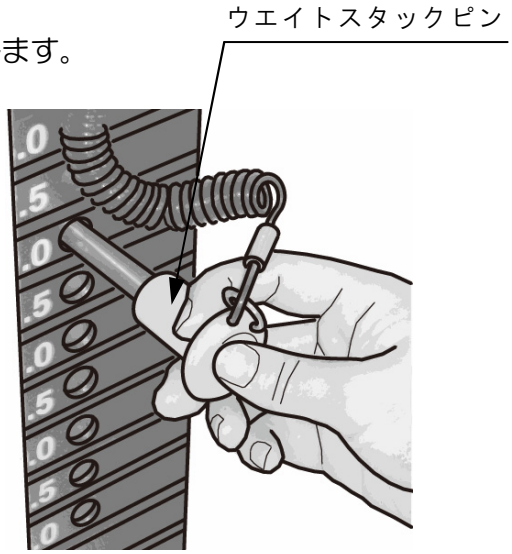


注意
- **シングル／ダブル切替レバーの操作は確実に行う**
- **シングル／ダブル切替レバーの操作をするときは指の挟み込みに注意**
- **シングル／ダブル切替レバーの操作は、必ず左右のアームを元の位置に戻し、クッションに触れている状態で行う**
- **左右のアームの位置が合っていない状態でシングル／ダブル切替レバーを操作しない**
- **シングル／ダブル切替レバーが、しっかり溝に入っていることを確認**

ウエイトの設定について

本製品では使用者の運動レベルに応じて 12 段階のウエイト質量に設定できます。
2.5 kg～30 kg（2.5 kg刻み，12 段階）

① ウエイトが全て一番下に下りていることを確認します。
② マグネットで固定されているピンをウエイトから抜き取ります。
③ 設定したいウエイトの中央の穴にピンを差し込みます。
④ ピンを完全に根元まで差し込んで、マグネットで固定します。
⑤ ピンを少し動かして、抜けないことを確認します。
⑥ アームを少し動かして、ウエイトが確実に持ち上がることを確認します。



警告
- **ウエイトスタックピンを操作するときは、必ずウエイトが一番下にあることを確認**
- **ウエイト質量を調節するたびに、必ずピンがマグネットで固定されていることを確認**
- **運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない**

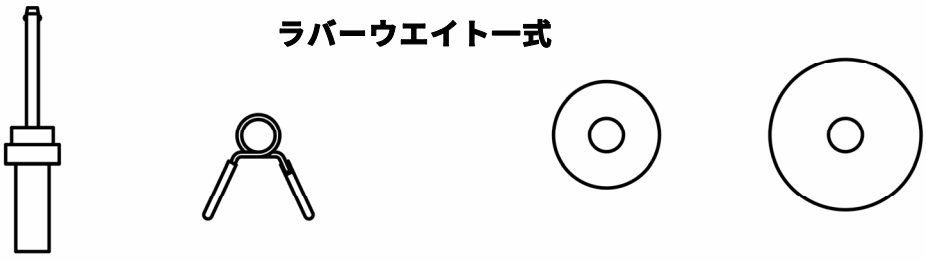
参考

機器の使用終了後、ウエイトスタックピンを最下部のウエイトに差し込んでおくと、アームの動きを抑えることができます。

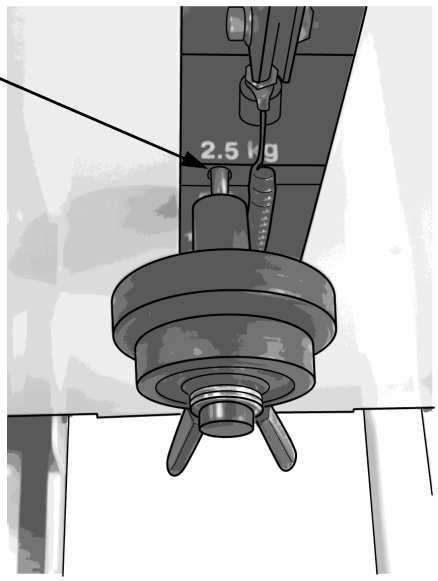
ラバーウエイトについて

ラバーウエイト 0.5 kgと 1.0 kgを組み合わせることにより、ウエイト質量をより細かく 0.5 kg刻みの 4 段階に設定できます。

ラバーウエイト一式



ラバーウエイトピン　**スプリングカラー**　**ラバーウエイト 0.5kg × 1 枚**　**ラバーウエイト 1.0kg × 2 枚**

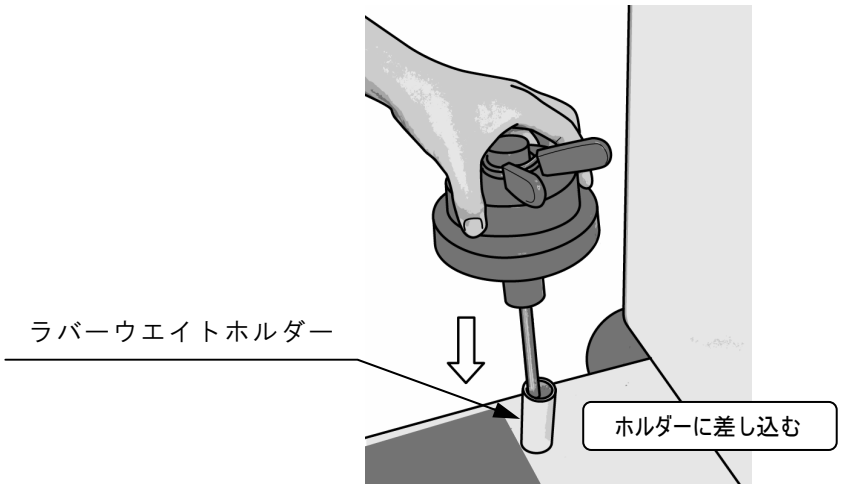


① ラバーウエイトピンを一番上のウエイト（2.5kg と表示のもの）の左側の穴に取り付けます。奥までしっかりと差し込んでマグネットで固定します。
② ピンを少し動かして、マグネットが効いていることを確認します。
③ 追加するラバーウエイトをピンに取り付けます。つばに当たるまでしっかりと通してください。
0.5 kgと 1.0 kgを両方とも使用する場合は、1.0kg を先に取り付けます。
④ スプリングカラーのつまみを持ち、両方を近づけるように握ったままピンにはめ込みます。カラーはラバーウエイトにしっかりと押し付けてください。
⑤ カラーのつまみから手を放すと、ラバーウエイトがピンに固定されます。
⑥ カラーを少し動かして、抜けないことを確認します。

⚠ 注意
- **ラバーウエイトピンには、付属のラバーウエイト以外は取り付けない**
- **ラバーウエイトピンは、一番上のウエイトにしっかりと取り付け、ピンがマグネットで固定されていることを確認する**
- **スプリングカラーは必ず使用し、ラバーウエイトにしっかりと押し付け、確実に取り付ける**
- **ラバーウエイトピンをウエイトスタックピンとして使用しない**
- **ラバーウエイトピンに取り付けるラバーウエイトは 2 枚までで、最大 2.0kg までにする**

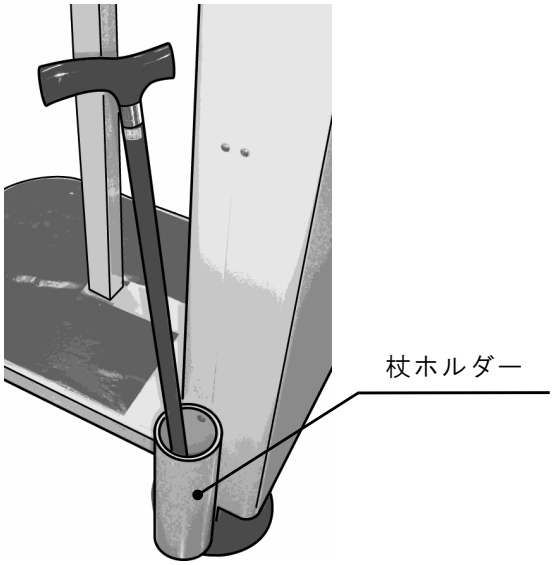
参考

ラバーウエイト、ラバーウエイトピン、スプリングカラーを使用しないときは、ステップ前方のラバーウエイトホルダーに保管できます。



杖ホルダーについて

杖歩行者が運動する際の杖置き場です。



⚠注意　・杖の把持部の向きに注意し、運動中に可動部と干渉しないことを確認
・杖ホルダーに差し込んだ杖に、横方向への無理な力を掛けない

オルターネイトシステムについて

オルターネイトシステムは、左右独立したアームを片側ずつ交互に動作させることを意味します。

ダブルアクションで運動する際、左右独立したトレーニングを行うことが可能です。単に左右のアームが独立して動くというだけでなく、設定した 1/2 のウエイト質量が左右に掛かることとなります。

＜例＞

2.5 kgのウエイトを選択してトレーニングを行う際、オルターネイト動作に対して左右 1.25 kgずつの質量が掛かるものとなります。

参考

・シングルアクションではオルターネイト動作は行えません。
・オルターネイト動作を用いた応用的な運動については、専門の医師や指導員の指示に従って行ってください。

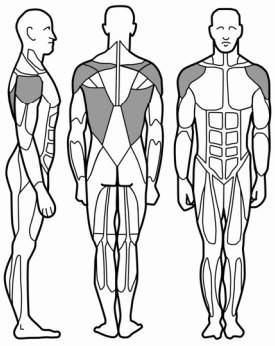
※基本的な運動方法

コンパクト ローイングによる基本的な運動方法について説明します。その他応用的な運動方法については､専門の医師や指導員の指示に従い行ってください。

ローイングでの使用筋肉

ローイング動作による関節の動きは、肩甲骨内転、肩関節伸展、肘関節屈曲です。それにより僧帽筋中部、広背筋、三角筋後部のトレーニングを行うことができます。

○関節の動き	○使用される筋肉
肩甲骨内転	僧帽筋中部
肩関節伸展	広背筋
肘関節屈曲	三角筋後部



基本的な姿勢の設定

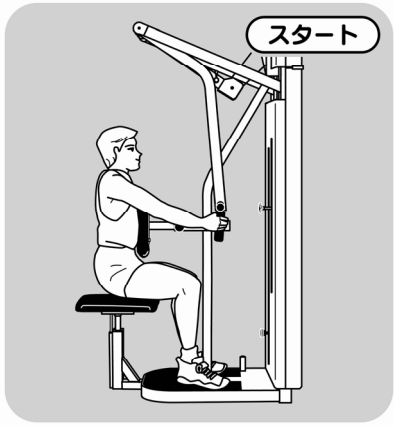
各部の調節方法については、**操作方法** の項を参照してください。

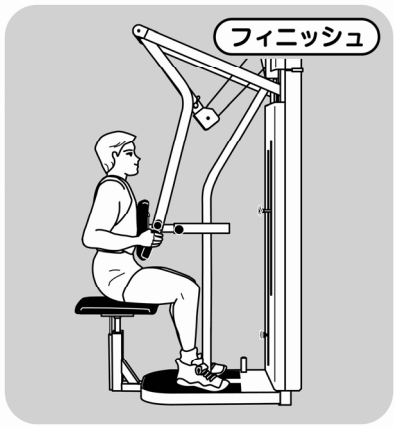
① 座面マットに座り、腕を床面と水平になるまで上げます。
② 水平に上げた腕と横グリップが同じ高さになるように、座面の高さを調節します。
③ 腕を伸ばして縦グリップが握れるように、胸パッドの位置を調節します。
（胸パッドは、軽く胸に当たる程度に調節します）
④ 足をステップの上に乗せます。

注意 ・床に障害ないことを十分に確認
・各調節部の固定は確実に行う
・無理な姿勢での運動は行わない

基本的な動作

① エンドストッパーの位置を調節し、適切な運動範囲を設定します。
② 適切なウエイト質量を設定します。より細かく設定する場合は、ラバーウエイトを使用してください。
③ 縦グリップを軽く握ります。
④ 胸を張った状態でゆっくりとグリップを引き寄せます。左右の肩甲骨を寄せ合うように意識します。このとき胸パッドに体重をかけないように注意してください。
⑤ グリップを十分に引き寄せ、ウエイトがエンドストッパーに当たったら、ゆっくりとグリップを元の位置に戻していき、静かにウエイトを下のウエイトにつけます。
⑥ ④～⑤の動作を繰り返します。





警告
- **運動を行う際は、周囲に他の人や障害物がないことを確認してから行う**
- **運動中は可動部に手足を近づけない**
- **運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない**
- **運動前後は、エンドストッパーを最下位にして固定し、ウエイトスタックピンを一番下のウエイトの穴に入れアームをロックする**
- **運動中は他の人が機器に接近した場合は、運動を一時中止する**

注意
- **運動中はグリップから手を放さない**
- **過負荷となるような無理な運動は絶対に行わない**

参考

- 適切なウエイト質量、運動範囲、及び運動回数等については、専門の医師や指導員の指示を受けるようにしてください。
- 運動の際は胸パッドに寄りかからないように注意してください。寄りかかってしまうと、姿勢の保持や肩の動きが妨げられてしまいます。ステップにしっかりと足を乗せ、自分の力で体を支えるように意識してください。
- グリップを引き寄せる際、上体で勢いをつけたり、後ろに体重を掛けたりしないでください。効果的な運動ができなくなります。
- 手首や肘が過伸展しないように注意してください。

※お手入れの仕方

- 本体についた汗や汚れはすぐに乾拭きしてください。
- ビニールレザーの清掃は、通常は乾拭き、水拭き、又はうすめた中性洗剤を使用してください。アルコール・シンナー等の溶剤や、漂白剤は使用しないでください。

※機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、ゴムマット上で安定していることを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 または、スパナ等による確認
	ウエイトベルトの損傷	ベルトに傷・変形・磨耗などないことを確認
	ウエイトベルトの固定、張り	ベルトの両端がしっかり固定されていること、たるんでないことを確認
	座面マット・胸パッドの破れ、汚れ	目視
	ステップの滑り止め	目視 （滑り止めが切れたりはがれたりしていないか）
機能	縦・横グリップの状態	グリップを握ってラバーが抜けないこと、切れてたりしていないことを確認
	固定部のロック （胸パッド､ウエイトスタックピン、エンドストッパー）	各固定部のロックを確認
	座面のガススプリングの昇降・固定	座ったままで調整し、ガススプリングによる昇降がスムースであること、固定が十分であることの確認
	アーム・ウエイトの動き	動きがスムースであることを確認

※保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*COP-1104C*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバー等を外したり、分解しないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  マット / パッド / グリップカバー / 滑り止めシート / クッションゴム

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  ウエイトベルト / ガススプリング

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

※仕 様

コンパクト ローイング　　COP－1104C

外形寸法		1170(W) ×715(D) ×1825(H) mm
総 質 量		160 kg
材 質	フレーム	スチール製，粉体塗装仕上げ
	ウエイト	スチール製，粉体塗装仕上げ
	アーム	スチール製，粉体塗装仕上げ
	プーリー	プラスチック製
	ウエイトベルト	ポリウレタン製，ワイヤー入り
	胸パッド	ビニールレザー製
	座面マット	ビニールレザー製
ウエイト枚数		12 枚（2.5 kg）
ウエイト合計質量		30 kg
適応身長		140～175 cm
適応体重		100 kg以下
付属品		ラバーウエイト(0.5 kg×1 枚,1.0 kg×2 枚) ラバーウエイトピン　1個 スプリングカラー　1個 足受ゴム　3枚 杖ホルダー　1個

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。